

新町だより  
新町小学校評価後期号

平成31年3月19日

京都市立新町小学校長 田宮 みゆき

TEL: 075-432-4190

E-mail: [shinmachi-s@edu.city.kyoto.jp](mailto:shinmachi-s@edu.city.kyoto.jp)

http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/shinmachi-s/

学校教育目標  
たくましく夢に向かって進み、ともに高め合い、輝く子の育成

## 学校評価のアンケート結果から ~よりよい新町小学校を目指して~

保護者、児童、教職員のアンケート結果をもとに、本校の取組について分析や検討を行いました。その結果を踏まえ、さらによりよい新町教育の充実と発展を目指していきたいと考えております。保護者の皆様にはお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

初めに、アンケートの結果をお知らせします。アンケートは、各質問に4つの選択肢で回答していただきました。

【A「よく出来ている」B「大体出来ている」C「あまり出来ていない」D「出来ていない】

## 【保護者アンケート】

項目	A	B	C	D
1. 子どもの様子について				
① 子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている。	27.7	59.3	11.6	1.4
② 子どもは、進んで自分の考えや思いを話している。	27.8	54.6	17.4	0.2
③ 子どもは、楽しく元気に学校に通っている。	56.6	40.0	3.2	0.2
④ 子どもは、何事にも意欲的にチャレンジし、粘り強く最後まで活動している。	28.3	56.7	14.8	0.2
⑤ 子どもは、進んで読書に親しんでいる。	34.5	30.3	27.7	7.5
⑥ 子どもは、自分から進んでいさつをしている。	26.4	50.8	20.7	2.1
⑦ 子どもが、早寝・早起きをし、適切な睡眠時間を取りができるよう心がけている。	28.9	38.9	26.6	5.6
⑧ 子どもが、朝ごはんをきちんと取ることができるよう心がけている。	64.6	32.6	2.8	0.0
⑨ 子どもは、友達や周りの人に対してやさしさや思いやりをもって接している。	46.0	50.3	3.7	0.0
⑩ 子どもは、学校などの公共の場所での約束やルールを守っている。	50.1	46.4	3.5	0.0
2. 家庭や地域について				
① 子どもは、家庭でテレビやゲームなどの時間や約束を決め、決めた約束を守っている。	22.4	49.6	18.9	9.1
② 子どもと会話する時間をもつことを大切にしている。	35.4	55.5	8.9	0.2
③ 家庭学習の習慣をつけたり、内容の充実を図ったりしている。	26.0	49.5	23.6	0.9
④ 学校のお便り（学校・学年・学級だより・PTAだよりなど）をきちんと読んでいる。	24.2	60.6	13.1	2.1
⑤ 学校行事やPTA主催の行事、地域の行事などに積極的に参加している。	10.7	46.2	36.1	7.0
3. 学校の取組について				
① 学校運営協議会の取組について知っている。	12.6	58.5	26.5	2.4
② 学校は、学校運営協議会の取組を教育に生かしている。	21.9	66.2	10.7	1.2
③ 学校は、学校だよりや学年だより、ホームページなどで学校の取組を発信している。	31.0	61.5	6.6	0.9
④ 学校は、いじめのない人権を尊重した教育を進めている。	25.4	66.4	7.5	0.7
⑤ 学校には何でも相談しやすい雰囲気があり、教職員は丁寧な対応をしている。	34.7	55.0	9.4	0.9
⑥ 学校は、保護者・地域との交流を深め、地域ぐるみで学校づくりを進めている。	37.3	57.8	4.0	0.9

## 【児童のアンケート】

項目	A	B	C	D
① 授業は、分かりやすくて楽しい。	52.1	39.8	7.2	0.9
② 授業中、進んで自分の考えや思いを発表している。	37.1	34.3	24.3	4.3
③ 毎日、楽しく学校へ通っている。	64.4	27.2	6.9	1.5
④ 学習やクラスの活動など、色々なことにやる気をもってちょう戦している。	50.3	40.7	8.1	0.9
⑤ 進んで読書している。	55.3	23.5	15.6	5.6
⑥ 自分から進んでいさつをしている。	63.2	28.1	7.7	1.0
⑦ 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身につけている。	39.1	33.7	21.2	6.0
⑧ 学習のめあてに合わせて、まとめやふりかえりをきちんと書いている。	58.4	31.4	8.2	2.0
⑨ 授業中、友だちに教えたり、友だちから教えてもらったりして、学習をがんばっている。	62.7	30.0	6.1	1.2
⑩ 学習の準備をきちんとしている。	59.7	33.5	5.7	1.1
⑪ 朝学習などでするきそ的・きほん的な学習に一生けん命取り組んでいる。	56.3	33.4	8.6	1.7
⑫ 道徳など、他人の立場や気持ちを考える学習を大事にしている。	64.6	29.6	4.5	1.3
⑬ そうじを真面目にきちんと行っている。	61.4	31.5	5.6	1.5
⑭ にこにこタイムなどで、ちがう学年の友だちと楽しく活動している。	67.0	26.8	5.2	1.0
⑮ 男女関係なく、だれとでも仲良く活動することができる。	59.4	32.8	7.2	0.6
⑯ 自分や友だちを大切にしている。	73.8	23.9	2.3	0.0
⑰ 学校やクラスのきまりをしっかり守っている。	52.6	38.9	7.0	1.5
⑱ 自分で課題を見つけ、毎日、自主的に学習に取り組んでいる。	40.7	39.4	15.4	4.5

※教職員アンケートの結果は紙面の都合上、学校のホームページにて掲載しています。

前期の学校評価等を振り返り、目指す子どもの姿から見た改善策や重点の取組を次のように見直し、後期の取組を進めました。

- ◆確かな学力を身に付けるために、また豊かな心を育むために、子どもたち一人一人が主体的に参加できるように毎時間の授業を工夫する。
- ◆子どもたちが自ら学ぶ力を付けるために、自主学習の進め方についてアドバイスしたり担任がノートを丁寧に見たりして自主学習を推進する。
- ◆学習の基礎基本の定着を図るために、朝学習の内容を工夫するとともに、放課後などを活用して補充学習を行う。
- ◆子どもの自尊感情や自己有用感を高めるために、係活動やたてわり活動、委員会活動などの特別活動では子どもたち自らが企画し、それを実行にうつす機会を大切にする。
- ◆授業に集中して臨めるように、規則正しい生活習慣を身に付けることや早寝・早起き・朝ごはんを推奨する。

今回は、12月に実施させていただきました学校評価にかかるアンケートの結果をもとに、前期の評価と比べながら後期の取組の成果と課題について考察したことをお知らせします。

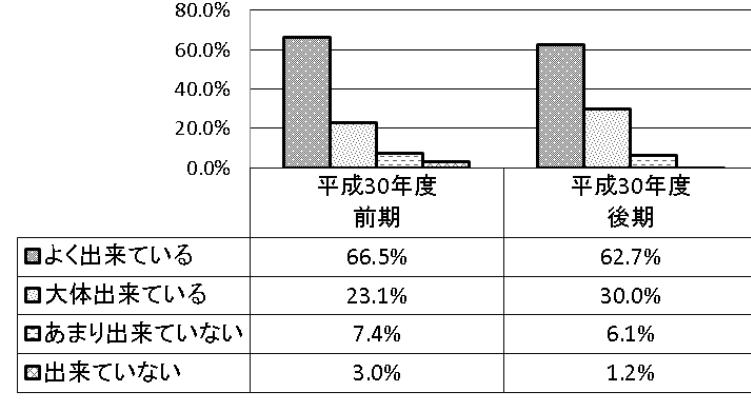
(裏面へ)

## 【学習面について】

昨年度に引き続き今年度も本校は、生き方探究教育の視点を大切にした研究に取り組んできました。そこで、本校では生き方探究教育の視点の一つである、友達との関わりを通して多種多様な人の考え方方に触れたり自分の考えを深めたりする「仲間との学び合い」を重視して授業を行っています。

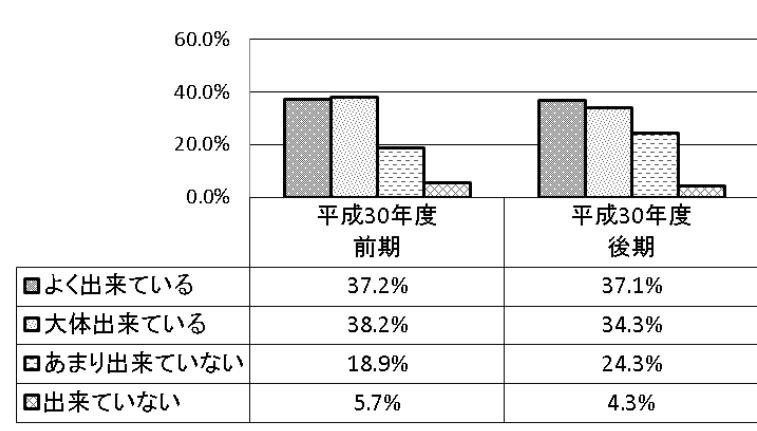
授業参観などの際にご覧いただいた方も多いと思いますが、様々な学習活動の場面でグループ学習やペア学習を取り入れ、自分の考え方や思いを伝えたり友達の意見を聞いて自分なりに考え方を深めたりする機会を大事にしています。

授業中、友だちに教えたり、友だちから教えてもらったりして、学習をがんばっている。【児童】



今回のアンケート結果を見ると、「友だちに教えたり友だちから教えてもらったりして学習をがんばっている」という質問においては、「よく出来ている」と回答した児童が62.7%、「大体出来ている」と回答した児童が30.0%いました。前回と比べると、「よく出来ている」と答えた児童の割合は約4%減少しましたが、肯定的に答えた児童の割合は約93%おり、「友達と学び合うことのよさや楽しさを感じている」という児童の割合は前回よりもやや増加しました。本校が生き方探究教育において「仲間との学び合い」を大切して取り組んできたこ

授業中、進んで自分の考え方や思いを発表している。【児童】



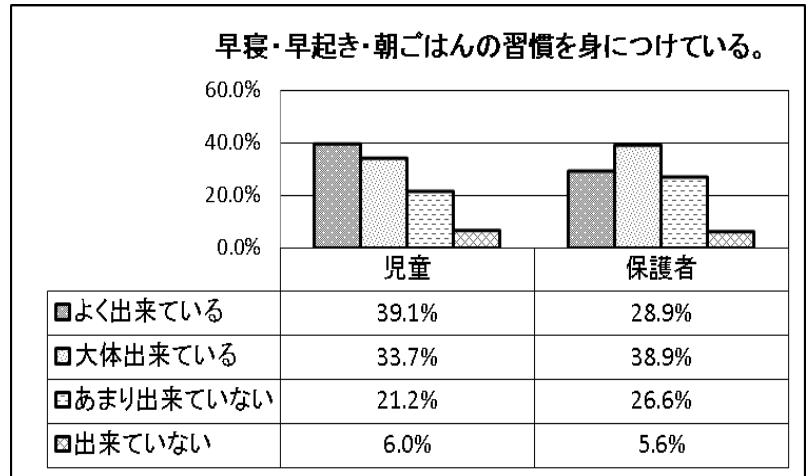
との成果であると言えます。

しかし、「授業中、進んで自分の考え方や思いを発表している。」という質問においては、「よく出来ている」と回答した児童が37.1%、「大体出来ている」と回答した児童が34.3%と、全体で71%の児童は出来ていると感じていますが、前回のアンケートと比べると約4%減少しました。昨年度も、出来ていると感じている児童の割合は、1回目の結果と比べると2回目では約5%減少していました。学年の後半になってくると授業の内容も難しくなり、学年スタート当初と比べると自分の考えに自信がもてずに人前での発言を避けてしまう児童の割合がやや増えていくように感じます。また、成長とともに周りの目が気になることも一因として考えられます。「自分の思いや考え方を相手にきちんと伝える力」は今後の社会においてますます必要となります。平成32年度から実施される学習指導要領でも、自分で課題を見つけ、その課題に対する自分の考えを相手に分かるように論述したり話したりする力を身に付けることが求められています。人前で自分の思いや考え方を発言することが苦手な児童にもきちんと焦点を当て、どの子もこうした力を身に付けられるようにしていく必要があります。

そのためには、自分の思いや考え方を発表することへの抵抗が少ない低学年のうちから発表の機会を多くもち、人前での発言に慣れるようにしておくことが大切であると考えます。また、それぞれの考え方のよいところを認めることで「自分の考えたことを伝えたい!」「自分のアイデアをもっと周りの友達に知ってもらいたい!」と発表への意欲も高まっていくのではないかと思います。さらに、「どうしてそうなるのか知りたい。」と児童の興味が沸くような導入の工夫や、「考えることが楽しいな。」と感じられるような課題設定も、授業を行っていく上での大事な要素であると言えます。児童が学習する楽しさを実感できる授業を実践できるように校内の研修体制や内容を見直していくとともに、外部の研修会なども上手に活用しながら情報収集し、研鑽を積むことで私たち教職員の力もより一層高めていきたいと考えております。

## 【生活面について】

早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身につけている。



生活面では、「早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身につけている」の質問において、「よく出来ている」「大体出来ている」と回答した児童は合わせて72.8%（前回：78.3%）いました。また、保護者の方へのアンケートでは、「よく出来ている」「大体出来ている」と回答された方が67.8%（前回：75.6%）いました。児童と保護者の方の回答傾向に大きな差は見られませんでしたが、前回のアンケートと比べると「出来ている」「大体出来ている」と回答した人の割合はどちらも5%以上減っていることが分かりました。新年度がスタートしてしばらくは、「がんばろう。」という気持ちも強く、学習面、生活面ともに張り切っている様子が伺えます。本校の登校時間は午前8時から8時20分までとなっていますが、ゴールデンウィークぐらいまではほとんどの児童が時間内に登校できます。しかし、学校生活に慣れてくるにつれて気持ちも少しずつ緩んでくるようです。登校時間に遅れて走っている児童や、朝学習が始まる8時30分を過ぎて登校してくる児童も増えています。

就寝時刻が遅いと、朝にすっきりと起きることができません。また、朝に余裕がないと学習に必要な物の準備を忘れてしまうこともあります。さらに、睡眠不足で前日の疲れがしっかりと取れていないことによって頭痛がしたりしんどくなったりし、集中して学習に向かうことができなくなります。このように様々な面で学校生活に影響してきます。習い事だけでなく、テレビやゲーム、YouTubeなど色々なことに興味・関心が広がり、学年が上がるにつれて就寝時刻が遅くなっていく傾向にありますが、なるべく早めに就寝し、時間に余裕をもって起床することで朝食の時間もしっかりと確保でき、気持ちよく一日を送ることができます。新年度を迎えるにあたり、ご家庭でももう一度お子たちの生活習慣を見直していただけたとあります。よろしくお願ひいたします。

◇今回のアンケートでは、「家庭での学習習慣を身に付けるために、大切にしておられることや工夫されていること」について保護者の方にお尋ねしました。ご家庭でどのように取り組まれているのか参考になるご意見がたくさんありました。いくつかご紹介させていただきます。

- ・同じルーティーンでの生活を心がけ、生活リズムの中に学習時間を設定するようにしています。
- ・集中力が続かないで、30分勉強したら休憩させています。また、週の最初に一緒に計画を立てるようにしています。
- ・親が読書したり勉強したりすることを続け、その姿を見せることで子どもも勉強するのが当たり前だという環境をつくっています。
- ・リビングが学習の場なので、質問にはその場で答えるようにしています。遊ぶのは宿題と準備が終わってからと決め、声をかけています。
- ・テレビなどはつけないようにしてできるだけ集中できるようにしている。
- ・学習する時間、休む時間、遊ぶ時間を自分で決めて実行してもらうようにしています。

## 【教職員のアンケート】

	項目	A	B	C	D
1. 子どもの様子について					
①	分かりやすく楽しい授業をしている。	9.1	63.6	27.3	0.0
②	授業中、子どもたちが進んで自分の考えや思いを話す場面を意図的に設定している。	18.2	72.7	9.1	0.0
③	子どもたちが楽しく元気に学校に通えるように取り組んでいる。	13.6	86.4	0.0	0.0
④	子どもたちが何事にも意欲的にチャレンジし、粘り強く最後まで活動できるように働きかけている。	13.6	86.4	0.0	0.0
⑤	子どもたちに読書の習慣が定着するように取り組んでいる。	9.1	59.1	31.8	0.0
⑥	子どもたちが進んでいきたいように、自ら積極的にいきたいようにしている。	36.4	59.1	4.5	0.0
⑦	子どもたちが早寝・早起きをし、適切な睡眠時間を取りながら活動できるように働きかけている。	4.5	54.5	36.5	4.5
⑧	子どもたちが朝ごはんをきちんと取ることができるように働きかけている。	4.5	41.0	54.5	0.0
⑨	子どもたちが周りの友達にやさしさや思いやりをもって接することができるような雰囲気づくりを大切にしている。	22.8	72.7	4.5	0.0
⑩	子どもたちが学校や公共の場所での約束やルールを守ることができるように取り組んでいる。	22.7	77.3	0.0	0.0
2. 家庭や地域について					
⑥	子どもたちが家庭でのテレビやゲームなどの時間、約束を守ることができるように働きかけている。	9.1	59.1	31.8	0.0
⑦	家庭に対し、子どもと会話する時間をもつことの大切さについて働きかけている。	9.1	63.6	27.3	0.0
⑧	家庭学習の習慣をつけたり、内容の充実を図ったりできるように工夫して取り組んでいる。	4.5	77.3	18.2	0.0
⑨	家庭に対し、学校のお便り（学校・学年・学級だより・PTAだより）を読むことの大切さについて働きかけている。	0.0	59.1	40.9	0.0
⑩	PTA主催の行事や地域の行事などに積極的に参加している。	14.3	47.6	38.1	0.0
3. 学校の取組について					
⑦	学校運営協議会の取組について理解している。	28.6	61.9	9.5	0.0
⑧	学校運営協議会の取組を生かして授業を行っている。	14.2	42.9	42.9	0.0
⑨	学年だよりや学級だより、ホームページなどを活用し、学校での子どもたちの様子を積極的に発信している。	9.5	47.6	42.9	0.0
⑩	いじめのない人権を尊重した教育の実現に向けて取り組んでいる。	28.6	61.9	9.5	0.0
⑪	何でも相談しやすい雰囲気づくりや、丁寧な対応を心がけている。	9.5	81.0	9.5	0.0
⑫	保護者・地域との交流を深め、地域ぐるみの学校づくりを進めることができるよう取り組んでいる。	4.8	71.4	23.8	0.0